

岡山デスティネーションキャンペーン「こころ晴ればれおかやまの旅」が盛況に終了



瀬戸内市立美術館の展示空間は、行列の出来る映えスポットに。

「こころ晴ればれ おかやまの旅」と題して、岡山デスティネーションキャンペーンが7月1日から9月30日まで開催されました。デスティネーションキャンペーンは、JR6社と観光関係者、自治体などが一体となって作り上げる大型観光キャンペーンで、期間中には特別な誘客イベント等が県内各所で実施されました。瀬戸内市内では、アートや刀剣をテーマとした誘客イベントが開催され、日本各地から訪れた観光客で大いに賑わいました。その様子をご紹介します。

mt project

マスクングテープ (mt) を使ったアートイベント「mt Project」では、瀬戸内市立美術館での特別展を中心に、牛窓ヨットハーバー・牛窓オリブ園・街角ミューゼ牛窓文化館の4施設をmtで彩りました。限定mtを取り扱うショップが開設されたほか、mtでラッピングされたレンタサイクルの貸し出し、犬島・牛窓間の臨時航路の開設、mtで彩られた施設を結ぶ巡回バスの運行、地域を周遊することでオリジナルmtが手に入るスタンプラリーなどを実施しました。本事業は、観光キャンペーンを契機に観光関連施設をアートスポット化することに



特徴的な牛窓ヨットハーバー内の建物がmt装飾され、魅力的なアートのスポットに変化。



瀬戸内きりり館で貸し出しているレンタサイクルもmtでラッピングされ大人気。



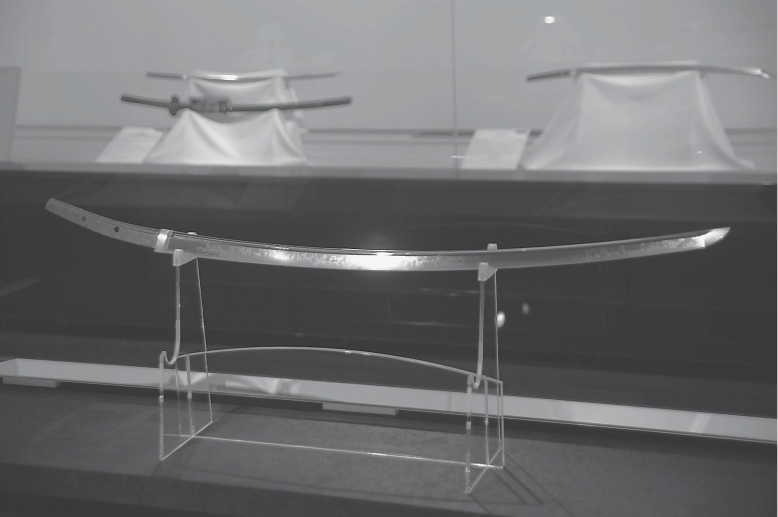
限定マスクングテープを求めて、多くの観光客が周遊型のスタンプラリーに参加。

国宝「山鳥毛」公開

備前長船刀剣博物館の夏季特別展「長船の系譜・700年の栄枯盛衰」では、長船派の初代と言われる刀工・光忠の太刀をはじめとした、長船派の刀剣を中心に展示しました。この展覧会では、国宝「太刀 無銘一文字(山鳥毛)」の公開に加えて、人気ゲーム「刀剣乱舞・ONLINE」とのコラボを企画しました。地域の方が参画するおもてなしもあり、全国から刀剣ファンをはじめ多くの観光客が来ら

れました。周辺の刀剣関連史跡を巡るマップの配布、刀剣に関連した神社や寺院でイベントが行われ、観光客に喜ばれていました。また、周辺の刀剣ゆかりの土地や観光関連施設をつなぐ無料のサークルバスを運行しました。バス停周辺や交通アクセスなどを案内するガイドが添乗することで、初めて訪問する人や不慣れな人にも利用してもらうことができました。

長船刀工とも縁深い鞆負神社では、特別に拝殿で御神刀の公開などで観光客をおもてなし。山鳥毛里づくり応援団のイベントも開催。



(上) 山鳥毛の展示。
(下) 一文字派の刀工が拠点とした備前福岡では、地域住民が地元ガイドなどで活躍。地域住民ならではの話に観光客が聞き入る。



刀剣に親しむイベント「長船真剣勝負2022」。長船刀工菩提寺である慈眼院前の広場には、300人近い参加者が集まり、刀剣クイズや鎧武者との触れ合いで盛り上がる。

経済波及効果

美術館で実施された特別展は入館者総数9067人で、近年では最も多い来館者数となりました。また、博物館の夏季特別展での入館者総数は10616人で、入館制限がある中、多くの来館者で賑わいました。これら、来館者数や事業の参加者数を基に、岡山県の観光客一人あたりの観光消費額から計算すると約2億2千万円以上の経済波及効果があったと見込まれます。